

うひはたぶみ (初機踏)

H.A.M.A.木綿庵だより
第37号
2020(令和2)年1月26日
(編集発行 梅田正之 090-5042-7775)

綿のライブラリー — 設立12周年を記念してHP内に開設—

H. A. M. A. 木綿庵(ゆうあん)が活動を開始して12年目の記念日を迎えました。当庵の設立は平成20年(2008)1月26日。不登校やひきこもり、うつなど心がうつむきがちな人たちが少しでも心やすらぐ居場所でありたいと、「居場所づくり」をめざし、活動を開始しました。拠点は畑。野菜や綿の栽培、綿の加工を通して、人や自然、社会やモノと関わる喜び、明日を楽しみに過ごす喜びを共にしたいと念じて取り組んでいます。

さて、このたび設立12周年を記念してH. A. M. A. 木綿庵公式ホームページ内に、「綿のライブラリー(資料室)」を開設することにしました。当庵にとって「居場所づくり」は、相談支援と綿の栽培、加工(機織り)が活動の両輪となっています。綿や機織りに関する問い合わせも少しずつ増えてくる中で、これまでに蒐集してきた資料を一覧にし、公開することによって、みなさんにも利用していただきたいと考えるようになりました。

資料の整理にあたっては、形態によって「書籍」、「図録」(博物館のパンフレット等を含む)、「論文」、「資料」(書籍からの一部コピーやチラシ、講演会レジュメ等を含む)に分け、各形態ごとに通し番号を付しています。通し番号は入力順であって特に意味はありません。

同時に、内容をおおまかに知る手がかりとしてA～Pの記号を付しました。A 栽培の歴史、B 綿業の歴史、C 中近世の綿業、D 近代以降の紡績業、E 機織り、F 植物染め(草木染め)、G 各地の取り組み、H 各地の織り物、I 植物としての綿(品種)、J 加工技術、K 栽培技術、L 社会問題、M 大和機、N 大和木綿(大和絨)、O その他(木綿以外の織物に関する資料を含む)、P 推薦図書。

たとえば、以下のとおりです(スペースの関係で内容の一部を省略しています)。

内容	番号	形態	著者	書名、タイトル	発行所	掲載誌、出典	初版	蔵本	備考
A B C P	A041	書籍	永原慶二	新・木綿以前のこと	中央公論社		1990	1990	新書963
E G H M N	B001	図録	天理参考館	大和もめん	天理大学		1981	1981	
B G J	C034	論文	角山幸洋	「打綿具」について	近畿民具学会	近畿民具2号	1978	1978	コピー
B C D E N	D016	資料	高橋隆博	大和木綿と大和絨	関西大学	大和風物詩	2010	2010	コピー

ただし、A～Pの記号はあくまで参考程度であって、その資料の内容を決定づけるものではありません。整理作業を通してあらためて気づいたのは、管見の限り大和機についての研究は帝塚山大学名誉教授の植村和代氏と、奈良県立民俗博物館学芸員の横山浩子氏の論考に限られている、ということです。そして、その技術の復元伝承に取り組んでいるのは帝塚山大学、奈良県立民俗博物館と相楽木綿伝承館です。

なお、公式HPに新しく「綿のライブラリー」を増設するにあたってはサイト内工事が必要なため、しばらく時間がかかります。工事が完了するまで、トップページの「お知らせ」に資料一覧を掲げています。ご了承ください。



H. A. M. A. 木綿庵の「綿のライブラリー」

Monthly Data

【天理やまのべ木綿庵】(問い合わせ件数 令和元年12月24日～令和2年1月23日)
北海道1、東京都1、神奈川県1、鳥取県1

【H.A.M.A.木綿庵】(令和元年12月24日～令和2年1月23日)

メールを含む各種相談件数3、綿畑や作業場の見学を兼ねた事前申込済来庵者数1件3名



《綿の収穫量の記録 2019年産》 実綿収穫総量=31,978g

今季(2019年、平成31年、令和元年産)の綿の総収穫(実綿)量は下記の通りです。なお、今季は1号畑のほかに5号畑、6号畑、7号畑でも栽培に取り組みました。1号畑では和綿の白、洋綿の白。5号畑も和綿の白、洋綿の白。6号畑は和綿の茶、洋綿の茶。7号畑は洋綿の緑です。

- ◇和綿:白(120株) 実綿 6,308g+コットンボール約250個(実綿換算725g) =実綿 7,033g
- ◇和綿:茶(110株) 実綿12,236g+コットンボール約100個(実綿換算350g) =実綿12,586g
- ◇洋綿:白(50株) 実綿 3,880g+コットンボール約1,080個(実綿換算5,616g) =実綿 9,496g
- ◇洋綿:茶(40株) 実綿 1,933g+コットンボール 約100個(実綿換算 440g) =実綿 2,373g
- ◇洋綿:緑(112株) 実綿 490g(諸種の事情により試験的収穫にとどめる) =実綿 490g

※コットンボールの個数は、コットンボールの状態でもしくは販売済の数を示しています。コットンボール1ヶあたりの実綿の量は個体によって異なります。今季の換算率は下記の通りです。和綿の白のコットンボール5ヶあたりの実綿重量=14.5g。同茶綿5ヶ=17.5g。洋綿白5ヶ=26.0g。(同茶綿5ヶ=22.0g)

《綿の栽培記録 2020》 - 令和2年度版 その1-

令和元年12月27日、年末恒例の1号畑の「綿木引き」を行い、天理在住の女性がお一人、参加してくださいました。これにてすべての畑の綿木引きを終了。新年1月2日から、2020年(令和2)度の栽培に向けて畝の整備に取り組みはじめました。6号畑では収穫時の作業効率を考え、畝の位置を少しずらしました。7号畑では同様の理由から畝数を3筋から2筋に減らしました。写真左:1号、中:6号、右:7号。



《奈良県立民俗博物館、「冬期企画展：機(はた)」を訪ねて》2020年1月12日

大和機の形態的変遷の痕跡をたどることのできる特別展。微妙に細部が異なる各種の大和機や、改良機である「ボタン」など、10数台の機がずらりと並ぶ展示は圧巻でした。写真下段。

【綿の加工の作業記録】 (梅田1人の作業量)

- ・糸車を用いての糸紡ぎ量 (和綿:平成29年,2017産。丹羽正行氏による打ち綿)
12月24日~1月23日(作業実日数30日) 糸の総量150.5g(40.1匁) 総時間436分(7時間16分)
※1分間≒0.345g 1時間≒20.7g(5.5匁)

【研修等の記録】

- ・令和2年01月12日 「奈良県立民俗博物館」(大和郡山市)を訪問、「冬期企画展：機(はた)」見学。
- ・令和2年01月13日 「なら工芸館」(奈良市阿字万字町)を訪問、見学。奈良晒等の作品を鑑賞。
- ・令和2年01月25日 「奈良県立図書情報館」(奈良市大安寺)を訪問、資料調査を行う。

【下段の写真は奈良県立民俗博物館の展示。左、中が大和機。右が改良機である飛び杼式のボタン】



